

やはば

議会だよ

217
2021.7.16
岩手県
矢巾町議会



議会で決めたこと

新体制の委員会の紹介 2

町政を問う 一般質問 11 議員

矢中跡地の利活用は 7

議会からのお知らせ

追跡 あの質問はどうなった 19

聖火ランナーを合唱で
お出迎え
矢巾北中特設合唱部
(関連記事 P20)

各委員会構成

新たな編成でスタート

総務常任委員会

総務、政策、財務、税務、防災等に関する調査
請願陳情等の審査

活動テーマ **安心・安全の町と信頼できる財政運営**



高橋安子
委員長



昆 秀一
副委員長



小笠原佳子
委員



廣田清美
委員



小川文子
委員



藤原由巳
委員

産業建設常任委員会

農林、商工、道路河川等に関する調査
請願陳情等の審査

活動テーマ **産業の活性化と利便性を高めるまちづくり**



山崎道夫
委員長



藤原梅昭
副委員長



吉田喜博
委員



川村よし子
委員



長谷川和男
委員



高橋七郎
委員

教育民生常任委員会

教育、福祉、環境等に関する調査
請願陳情等の審査

活動テーマ **世代間交流と社会教育の充実について**



赤丸秀雄
委員長



藤原信悦
副委員長



谷上知子
委員



村松信一
委員



水本淳一
委員



廣田光男
委員

4月5日開催の定例会
4月会議において、総務・
産業建設・教育民生の3
常任委員会の構成が新た
に決まりました。
任期は2年間です。

議会運営委員会、予算決算常任委員会、広報広聴常任委員会に変更はありません

進むワクチン接種

4月23日開催の4月第2回会議および6月1日から6月10日まで開催の6月会議では、新型コロナウイルスワクチン接種費用関係の一般会計補正予算や条例の制定、下水道事業会計補正予算などを審議し議決しました。一般会計の総額は109億109万円となりました。



新型コロナウイルスワクチン集団接種会場
(さわやかハウス)

4月第2回会議

補正予算

主な一般会計の内容は、64歳以下のワクチン接種に係る費用です。

主な歳入

▽新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金
7304万円

▽新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金
5130万円

主な歳出

▽新型コロナウイルスワクチン予防接種業務委託料
5764万円
▼新型コロナウイルスワクチン接種体制確保謝礼
3326万円
▼会計年度任用職員報酬
468万円

会計年度任用職員の報酬内容は

報酬内容は

【質問】相談業務や集団接種会場の対応に当たる会計年度任用職員報酬が計上されているが、人数などの内容は。

【回答】相談対応が5名、看護師等が6名分を4月から9月までの期間で計上している。

6月会議

条例

税条例の一部改正

国民健康保険税については、新型コロナウイルス感染症の影響で収入減少の世帯に対しては、令和2年度に引き続き令和3年度も減免対象になります。

中小企業振興基本条例

町の経済発展および町民生活の質の向上に寄与することを目的に制定するものです。

基本計画策定の時期は

【質問】条例の基本方針に基づく基本計画の策定期間は、また、策定には誰が関わるのか。

【回答】条例制定後に取り掛かり、令和4年度中の作成を目指す。関係機関や有識者の意見のほか、一般の意見も集約していきたい。

補正予算

一般会計
主な内容は次のとおりです。

主な歳入

▽新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金
2736万円

▽子育て世帯生活支援特別給付金事務費
45万円

▽財政調整基金繰入金
5438万円

主な歳出

▼国民保養センター運営事業費
463万円

▼子育て世帯生活支援

特別給付金

(その他世帯分)

2500万円

▼道路維持管理事業費

1128万円

▼社会資本整備事業工事費

1100万円

子育て世帯生活支援

特別給付金の対象は

質問 子育て世帯生活支援特別給付金(その他世帯分)の内容は。

回答 ひとり親世帯分の給付金該当者を除いた方で、収入が急変し住民税非課税相当の方や非課税の方が対象です。



ai ai ひろばで遊ぶ子どもたち(さわやかハウス内)
親子の交流や子育て相談を行っています

ワクチン接種の状況は

質問 ワクチン接種に関する補正が計上されているが、町の接種状況とキャンセルなどへの対応策は。

回答 5月26日現在で介護施設入所者863人の接種が終わっている。75歳以上の対象者のうちこれまで78・9割が予約している。

キャンセル対策には、集団接種会場で手伝っていたり、保健推進員や民生児童委員で、年齢が高い方から順に代替接種を考えている。



コロナ禍で利用客が減少している
矢巾町国民保養センター

コロナ禍での
保養センターの経営改善策は

質問 国民保養センターの指定管理料は他の指定管理者の中でも上昇している。

回答 補正予算の内容は、コロナ禍での宿泊や宴会の減少による令和2年度分の補填である。

業務内容を見直し、多くの方から意見を伺いながら健全な運営を検討していく。

みなさんからの請願

▽教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための2022年度政府予算に係る意見書採択を求める請願

請願者

岩手県教職員組合

いわて盛岡支部

支部長 栗田 裕年

紹介議員 山崎 道夫

採択
審査意見

学校現場では、貧困・いじめ不登校など課題が山積し、授業準備等の確保が困難。豊かな学びや働き方改革実現には定数改善計画に基づく教職員定数改善が不可欠である。

自治体独自の財源措置による教育格差は問題であり、全国どこでも一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であることから請願の趣旨は理解でき採択とした。

令和2年度 政務活動費 公表します

町政に成果を反映

会派名	町民の会	一心会	矢巾明進会	日本共産党	令和やはば	公明党
所属議員	廣田清実 高橋安子 水本淳一 藤原信悦 吉田喜博 高橋七郎	山崎道夫 廣田光男 藤原梅昭 昆 秀一 赤丸秀雄	長谷川和男 村松 信一 藤原 由巳	小川 文子 川村よし子	谷上知子	小笠原佳子
政務活動費 交付決定額(A)	1,152,000円	960,000円	576,000円	384,000円	192,000円	192,000円
収入	576,000円	960,000円	288,000円	384,000円	96,000円	96,000円
支出	調査研究費	0円	0円	0円	0円	0円
	研修費	0円	172,500円	0円	60,880円	0円
	会議費	0円	7,846円	0円	0円	0円
	資料作成費	0円	31,108円	0円	0円	0円
	資料購入費	0円	0円	0円	0円	0円
	広報費	0円	413,998円	0円	135,850円	0円
	事務費	0円	10,032円	0円	19,470円	0円
合計	0円	635,484円	0円	216,200円	0円	0円
収支差引残額 町に返還する金額	576,000円	324,516円	288,000円	167,800円	96,000円	96,000円

議会の活動

局でも閲覧できます。

また、役場4階の議会事務局でもご覧いただけます。

取支報告書や領収書などの明細については、町ホームページをご覧ください。

もっと詳しい内容を
知りたいときは？

負担となります。

また、不足した場合は個人負担となります。

政務活動費に残額が生じた場合は町に返還します。

お金が余ったら
どうするの？

計上しています。

令和2年度は議員一人あたり月額1万6000円を予算に

矢巾町では、会派に対して、

議員の調査研究活動の充実を図るために、必要な経費の一部を補助するものです。

政務活動費ってなに？



主な調査研究・研修活動など

会派名	内容	開催日
町民の会 矢巾明進会	森山パストラルパークヤマコリ調査(白沢住民自治会)	令和2年7月15日
町民の会 矢巾明進会 公明党	新型コロナウイルス感染症による町内企業への影響把握(矢巾町商工会)	令和3年2月3日
一心会	オンライン(web)研修会受講(やはば一く会議室) ・議会改革うまくいっていますか？ ・効果的な予算・決算の審議手法を考える	令和3年2月1日
一心会 令和やはば	オンライン(web)研修会受講(自宅) ・総合戦略と人口ビジョンへの質問のポイント ・立地適正化計画と公共施設等総合管理計画 ・防災・減災と議員の役割 ほか5講座	令和3年2月10日～2月28日
一心会	オンライン(web)研修会受講(自宅) ・コロナ禍の広報とデザイン作成術 ～発信業務に即役立つ実務～	令和3年2月19日
矢巾明進会	除雪が困難な家庭等を支援する活動(紫波町水分地域「吉水支え愛クラブ」)	令和3年1月23日
日本共産党	オンラインセミナー映像研修(自宅) ・財政状況資料集を使ってできる決算質疑のポイント ・教育予算の基礎 ほか2講座	令和3年2月19日～2月26日

各議案の採決状況

令和3年定例会4月第2回会議

議案番号	提出議案	議員名														採決結果			
		藤原信悦	吉田喜博	小笠原佳子	谷上知子	村松信一	廣田清美	高橋安子	水本淳一	赤丸秀雄	昆秀一	藤原梅昭	長谷川和男	川村よし子	小川文子		山崎道夫	廣田光男	高橋七郎
第47号	令和3年度一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

令和3年定例会6月会議

第48号	中小企業振興基本条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第49号	固定資産評価審査委員会条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第50号	税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第51号	町営住宅等条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第52号	介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第53号	復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第54号	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第55号	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第56号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第57号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第58号	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第59号	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第60号	史跡徳丹城跡外郭西辺北半地区遺構表示等整備工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第61号	令和3年度一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第62号	令和3年度下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第3号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

○=原案に賛成 ●=原案に反対 欠=欠席 可=可決 否=否決

注：藤原由巳議長は採決に加わらない。

ズバリ 町政を問う



夏の花いっぱい運動

一般質問

一般質問は、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、町の姿勢を明らかにするものです。
6月会議では11人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

●村松 信一 議員 P 8

- ① 公共施設長寿命化のための個別施設計画
- ② SDGsの取り組みについて
- ③ 矢巾中学校跡地について

●昆 秀一 議員 P 9

- ① 特別調整等が必要な方への支援
- ② DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- ③ 公園のあり方
- ④ 困難を抱える若い世代の方々への支援

●小笠原 佳子 議員 P 10

- ① 自転車の安全利用について
- ② コロナ禍の子ども食堂の運営について
- ③ 高齢者への支援について

●藤原 信悦 議員 P 11

- ① ヤングケアラーの早期発見と支援
- ② 国指定史跡徳丹城跡の歴史的価値をわかりやすく、後世に伝えていくために
- ③ 人口減少傾向下での定住人口の創出
- ④ 矢巾町生活支援事業「やはば移動スーパー」について

●高橋 安子 議員 P 12

- ① 本町の児童生徒の不登校実態と対策
- ② 「えんじょいセンター」の活用
- ③ 矢巾中学校跡地の利活用と徳田小学校の移転問題について

●谷上 知子 議員 P 13

- ① 小学校高学年教科担任制導入について
- ② 産後ケアについて
- ③ 町のPRについて

●山崎 道夫 議員 P 14

- ① 旧矢巾中学校敷地の利活用基本方針案に対する考えについて
- ② 小中学校におけるコロナ対策強化について

●川村 よし子 議員 P 15

- ① コロナ感染症拡大に伴う対策について
- ② 矢巾町高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画について

●吉田 喜博 議員 P 16

- ① 矢巾町の防災体制と消防団員について
- ② 本町の特産品について

●小川 文子 議員 P 17

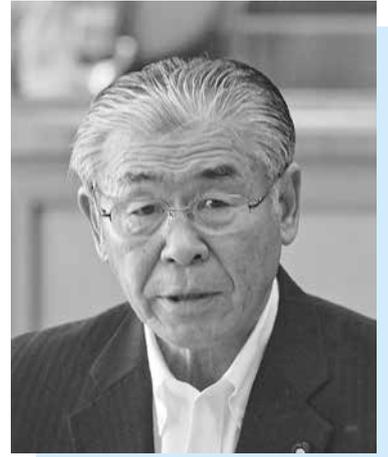
- ① スーパーシティ構想について
- ② 学校給食の調理部門等の民間委託について
- ③ 旧矢巾中学校跡地利活用
- ④ コロナ禍の中ひとり親世帯への町独自の支援を

●長谷川 和男 議員 P 18

- ① 旧矢巾中学校敷地の利活用について
- ② 政策秘書について

※次ページからの一般質問は、紙面の都合上、内容を要約しています。
詳しくは、議会事務局まで ☎ 019-611-2801

矢中跡地は高層階建築で 貴重な意見として検討する



むらまつのぶかつ
村松信一議員
(矢巾明進会)



有効活用が望まれるかっこうグラウンド

質問 健康（健幸）寿命の延伸と医療費の抑制は重要な行政課題である。
ヘルスケア・介護・医療の先端的技術とサービスに取り組み企業や組織など、多岐にわたる企業の誘致場所として旧矢巾中跡地を活用しては。

また、高層階は町営住宅や一般住宅に、低層階は研究機関等の企業が利用し、周辺を緑地化により災害時の避難場所として整備してはどうか。
町長 研究機関と町営住宅を組み合わせた建物とする活用、避難場所の機能を備えた公園としての活用は貴重な意見として今後検討する。

本町のSDGs 取り組みは 役場が率先し企業や 個人に広げたい

質問 職員が月に数回程度、徒歩や自転車等での通勤をしては。また、公用車やマイカーをEV自動車に替え、充電スタンドを設置してはどうか。
町長 環境に優しい町づくりのために率先して実現に向けて取り組みたい。

質問 行政手続きのキャッシュレス化やデジタル化を行うサービスの内容は。
町長 現在窓口で行われて

いる手続のほとんどが窓口以外でもできるよう、申請手続き等のデジタル化、支払いのキャッシュレス化を進める。
**老朽施設の
長寿命化は
維持管理の平準化で
費用の縮減を図る**

質問 多くの公共施設が老朽化により修繕や更新の時期を迎えるが、扶助費等の増加により財源確保が難しくなる。
施設の維持管理・更新等の費用の全体像を明らかにすべきでは。

町長 各施設の個別計画をまとめた公共施設等総合管理計画を作成し、予防保全型維持管理の平準化で施設の長寿命化による費用の縮減を図る。

質問 個別施設計画の件数は。また、計画の公表はいつ行うのか。
町長 個別施設数は42件あり、今後速やかにホームページに掲載する。



こん しゅういち
昆 秀一議員
(一心会)

特別調整による 孤独・孤立対策は 重層的支援体制により支援



地域生活定着支援についての研修会

地域共生社会のための特別調整支援は、孤独・孤立対策の一環ともなる。

本町における特別調整支援の考えは。

町長 岩手県地域生活定着支援センターを含めた関係機関との連携を図り、重層的支援体制整備事業で既存の福祉的支援の活用を含め、孤独・孤立対策につながる支援を進める考えである。

DXに対する 町民の理解は

町広報等で
わかりやすく説明

質問 DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、デジタル技術が浸透することで人間の生活のあらゆる面で引き起こす、あるいは良い影響を与える変化を指す。

このDXに対する町民の理解をどのように求めているのでしょうか。

町長 スマートフォンの活用によって、役場に足を運ぶこ

となく手続きができるなど、町民の利便性向上になる仕組みを検討する。

また、スマートフォンなどを持っていない方や不得意な方にとって利便性向上につながる仕組みづくりに取り込む。

公園での 除草剤の使用は

一概に規制はできない

質問 公園の管理などは、その地域に任せられているところが多いが、雑草の除去には除草剤を使用しているところがあるようだ。

町として除草剤を使用している場合の安全確保を、どう考えているか。

町長 現在自治会に管理委託しているコミュニティ公園での除草剤使用状況については、把握していない。

一概に規制はできないが、正しい用法に則して使用する場合には、健康への影響はないものと認識している。

質問 特別調整とは、刑務所に入っている者のうち、帰る場所がなく、かつ高齢や障がいといった問題を抱える者について、退所後に福祉的支援を受けられるように各調整機関が連携して再犯を防ごうとするものである。

自転車の安全利用について

条例の制定を研究する



おがさわらよしこ
小笠原佳子議員
(公明党)



通勤通学や健康増進での自転車利用が多い(矢幅駅前)

質問 自転車は環境に優しい交通手段であり、コロナ禍の影響で人混みを避けての通勤や健康増進の利用が増えている。町民、児童生徒への安全教育と保険加入推進についての状況は。また自転車保険条例制定の考えは。

町長 高齢者や児童生徒の安全教室を行っている。自転車に起因する事故の発生と近隣市町村の状況等を踏まえ、条例の制定と任意保険加入を推進する。

子ども食堂の運営は

コロナ禍で
弁当や食材を配布

質問 当町における子ども食堂「ここかむ食堂」のコロナ禍の運営状況は。

町長 誰もが参加でき、食事の提供を通じて子どもや大人の居場所になっている。コロナ禍の影響から食事の提供に代え、弁当や食材配布を行っている。

質問 「ここかむ食堂」の運営主体とその財源は。

町長 運営主体は母子寡婦福祉協会と社会福祉協議会であり、財源は母子寡婦福祉協会の事業費と赤い羽根共同募金の助成金や寄付金である。

また企業や団体から食材などの寄付で活動している。

高齢者への補聴器助成は

助成制度の創設を
働き掛ける

質問 65歳以上の軽・中等難聴高齢者に対し補聴器の購入助成は。

町長 難聴と認知症の関係などの研究結果もあり、全国的な助成制度の創設を国・県に働き掛ける。

質問 不動産担保型生活資金（リバースモーゲージ）の概要と当町での相談件数は。

また終活の支援を新設する考えは。

町長 対象は市町村民税非課税程度の高齢者世帯で、1千万円以上の不動産を担保とした生活資金の貸し付けを受ける制度であり、町での相談件数はない。終活については時代の求めがあり検討する。

ヤングケアラーの 早期発見と支援は 関係機関との連携で実態把握



ふじわらしんえつ
藤原信悦議員
(町民の会)

質問 町はヤングケアラーの実態調査をしているか。

教育長 町では実態調査してないが、要保護児童対策地域協議会（要対協）が把握に努めている。

質問 南魚沼市ではヤングケアラーの発見に教職員の気づきが重要と捉え研修を行っている。当町の取り組みは。

教育長 要対協実務者会議でガイドラインについて全教員に周知している。

質問 町関係課や関係団体との連携が必要と思われるが具体的な役割分担は。

教育長 要対協は支援内容を関係機関と調整。支援後もサポート相談体制を整備する。



史跡徳丹城跡全景の鳥瞰写真

史跡最終整備は

往時をしのび散策を

質問 徳丹城跡の最終的整備の内容は。また、遺構の一部

復元や関連整備の考えは。

町長 発掘調査の成果を分か

質問 タブレットやスマートフォンでの史跡案内の考えは。

町長 具体的な活用方法について協議を進めており、史跡全体の鳥瞰図や建物の復元表示なども検討中である。

移動スーパー 運用開始

より良い運用を
目指す

質問 移動スーパーの立ち寄り先の半数は、町中心部の住宅地で大型スーパーもあり事業目的にそぐわないのでは。

町長 買い物困難者への支援として、個別注文に対応すべく努力している。

質問 週1度の巡回販売では、自宅での生鮮食品の鮮度管理に難点があるのでは。

町長 食料品の購入は週に複数回必要と思うが、現状の車両台数と販売員数では難しい。今後は、需要拡大を前提に

JAシンセラと協議を重ねていく。

児童生徒 不登校の実態と対策は 複数のチャンネルで対応する



たかはしやすこ
高橋安子議員
(町民の会)

質問 少子化の中で全国的に不登校の小中高生が増加しているが本町の実態はどうか。

教育長 30日以上欠席の不登校児童生徒は、令和2年度末時点で小学生4人、中学生28人の合計32人であり前年より8人増加している。

また、不登校の前兆とも言える7日以上欠席者は、小中学生合計で21人、前年より1人減となっている。

質問 不登校児童生徒への対応はどのようにしているか。

教育長 学校では担任やスクールカウンセラー等が対応しているが、それでも難しい場合は、適応指導教室「こころの窓」への通級を進める。



子どもたちの笑顔を守りたい(煙山小学校運動会)

質問 不登校児童生徒や家族の中には、地域に交われない傾向もあり、自宅での引きこもりや自殺にまで追い込まれる児童生徒もあると聞く。今後、地域を越えて利用できるフリースクールを支援し

ながら対応する考えはないか。
町長 フリースクールへの支援については、本町のみの問題ではなく他市町村との支援体制が不可欠であることから、町村会を通じて県に予算要望していく。

えんじょいセンター
に厨房設備を
設置を総合的に検討

質問 半年が経過した「えんじょいセンター」利用者の状況は。

町長 半年間で延べ1372名の利用がある。男性シニアサロンは9回開催、延べ50名の参加があった。

軽い運動やゲームを通して脳の活性化を図るなど、認知症予防等につながる取り組みを実施している。

質問 えんじょいセンターは今後、多世代で活用するということであった。「こかも食堂」が、子どもたちの夕食を計画していることから厨房設備の設置が必要では。

町長 介護施設等整備事業費補助金の交付を受けて整備しており、制度を逸脱しない範囲で多世代の交流を図る。

厨房設備の設置は、新型コロナウイルス感染症の収束状況を踏まえて検討していく。



やがみ ともこ
谷上 知子議員
(令和やはば)

教科担任制 小学校への導入は 県の方針を参考に検討



教科担任制が考えられる教科書

質問 文部科学省では2022年度より小学校高学年に教科担任制を導入するが、本町の教科担任制導入についての考えは。

教育長 県教育委員会が本格的に導入した場合、本町でも導入を考える。

質問 教科担任制を予定している教科は。

教育長 現在、試験的に教員が配置されている理科・英語・社会を想定している。

質問 教科担任制の効果および配慮すべきことは何か。

教育長 教員は授業の準備に充てる時間が増え、わかりやすい授業や、児童の対応に時間をとることができる。その反面、児童の変化の見逃しが無いよう学級担任との連携が配慮したい。

産後支援の施策は

産後ケア事業の

実施に努める

質問 町の合計特殊出生率は上昇しているが、出生数は年々10人程度下がっている。その分析は。

町長 合計特殊出生率は5年間の平均である。

宅地開発時期に転入が増えることで数値が上昇していると思われる。

質問 出産後4週間ほどは母親自身が最も疲労する。

このつらい時期に、母子を預かり沐浴をはじめ夜間も手助けができる施設を利用するサポートを行うてはどうか。

町長 産後の母体の休養と回復、母子の愛着形成を図るため、助産師等が沐浴や授乳のサポートを行う産後ケアの実施に向けた町内の宿泊施設を確保し利用を進める。

観光ボランティアの育成を

より一層の

育成に努める

質問 観光活動は町の強いPRや郷土愛になる。子供から大人までが参加できる観光ボランティア育成の考えは。

町長 観光ボランティアは歴史や文化のPRだけでなく、リピーターが生まれることで観光振興につながる可能性があり、体験型やばっツアーリズムにもつながることから、一層育成に努めたい。

旧矢中跡地の売却方針は疑問

今後議論を積み重ねていく



やまざきみちお 山崎道夫議員
(一心会)

質問 旧矢中中学校跡地の利活用策については、民間への売却を基本方針としたことに疑問を感じざるを得ない。

町民ファーストで活用策を考えるべきでは。

町長 小学校などの町施設は、近い将来に大規模改修や建て替えなどの検討を行うべき時期を迎えるが、増大する扶助費や社会資本整備と並行しながら基金を積み立てることとは困難な状況である。

優良な宅地や業務用地の需要が高まっていることから、売却の方針を提示したところである。

質問 現在、市街化区域の拡大を東北農政局に申請中であり、こうした中、売却の方針

決定は理解しがたい。一部は空き地として残し、緑地や駐車場、防災空間として活用するとしているが、どこを売却しどこを残すか、具体的な面積割合が示されていない。

さらには教育施設、社会教育施設の整備に向け、売却益を基金に積み立てるとしているが、積立額や整備に向けた構想も明らかになっていない。

将来、学校統合や都市公園建設など、どのようなまちづくりを目指す考えなのか、ブランドデザインを示し、町民への説明を行い、意見を聞くべきと思うがどうか。

町長 議会からの意見を踏まえ、民間提案によって有効な土地利用を図りたいと考えており、現時点では詳細を決めていない。

今後、さらに議論を積み重ね、見える形にして進めていきたい。

また、町民への説明会を実施して、意見を聞く機会を持ちたい。



上手に手洗いを励行する児童（不動小学校）

学校の蛇口をレバー式に

可能な限り進めていきたい

質問 学校でのコロナ感染予防対策の一環として、水道の

蛇口を腕で開閉できるレバー式に交換するべきであると考えるが。

教育長 手洗いは感染症対策のひとつとなっており、今後補助事業を活用できるか協議し、自動水栓化やレバー式化を進めていきたい。

コロナ禍による 生活困窮支援は 相談者に寄り添う支援を



かわむら
川村よし子議員
(日本共産党)



シルバーリハビリ体操 (えんじょいセンター)

質問 生活保護申請を含めた生活相談や就学支援制度の利用状況は。

町長 相談件数は前年度に比較し2倍以上に増加。就学支援制度の利用も増えている。

質問 地域企業経営継続支援事業など、支援事業の広報活動の状況は。

町長 町独自の支援策のほか、国・県の支援策を一覧にしてホームページで情報提供を行っている。

また、商工会や金融機関に協力を依頼し、各申請窓口で円滑に提出できるようチラシ等による広報を実施している。

質問 非正規で働く女性の失業や生活困窮が浮き彫りになっている。町内事業所の実態を調査し、町独自の対策を行うべきでは。

町長 国や県の支援実施に合わせて、実態調査を行う。

質問 学生など若者の生活状況を把握しているか。

また、奨学金返済猶予や国民年金保険料支払い等の困窮者支援策の現状は。

教育長 奨学金の返還猶予や奨学金利用と個人の生活状況などを勘案し対処している。

今年度から給付型の特別奨学金を始めた。

介護課題を問う
ニーズを集約し
支援を講じる

質問 介護従事者確保の具体的な対策は。

町長 町内事業者のニーズを集約し支援策を講じる。

質問 高齢者福祉計画作成時のアンケート結果は。

町長 転倒や物忘れなど不安もあるが在宅を希望、在宅生活を不安なく過ごせる介護サービスの希望などがあつた。

質問 えんじょいセンターのボランテニア育成状況は。また利用者の事故対応は。

町長 オレンジボランテニアの育成は毎年実施し、今年度は8月に予定。

また、傷害保険、賠償責任保険等に加え、対応している。

質問 民生児童委員と重層的支援整備事業の関わりは。

町長 民生委員は地域福祉推進上、重要なパイプ役である。

消防団員の免許取得に助成を 取得費用の一部負担を検討



よしだのぶひろ
吉田喜博議員
(町民の会)



今年6月の消防団員による矢巾町消防特別点検(県消防学校)

質問 大規模災害発生時の際は、町職員としての職務と消防団員としての任務の両立は難しいと思うが、町の考えは。

町長 以前から課題として捉えており、日頃から町消防団と連携しつつ、新規団員の確保を図っている。

質問 今後の消防ポンプ車の更新計画と仕様については。

町長 更新は第4部と第13部の2台を予定している。令和4年度に更新予定の第4部には、可搬ポンプを積載した市街地の狭い道路でも対応可能な、管轄地域に適した仕様を検討している。

町長 矢巾観光開発株式会社や岩手中央農協など他企業との共同で開発している。特産品として、南昌さんさジュースのリニューアルや矢巾おでんのレトルト、キクラゲの佃煮等を商品化してきた。いずれの商品にも、米、リンゴ、シイタケ、山ぶどう等の町産品が使われている。

質問 機能別消防団員による消防車の運転操作は可能か。

また、消防車の運転に必要な免許の取得に対し助成する考えはないか。

町長 消防団長の要請があれば運転操作は可能である。法改正により消防車の運転に準中型自動車以上の免許が必要となったことから、取得費用の一部負担を検討する。

質問 町特産品の酒類が、現在は販売されていないと聞か。

町長 日本酒の「徳丹城」「南昌山」、焼酎の「ゆくたがり」の三種類があるが、「ゆくたがり」は販売低迷から製造を休止することで関係者と協議を行っている。

特産品認証の 取り組みは

特産品振興 施策の一つに

質問 特産品開発の委託先と町農産物の使用状況は。

質問 町の農畜産物等を「矢巾町特産品」として認証する仕組みを作り、町をPRしブランド化する考えは。

町長 ブランド認証は町のPR戦略として有効であり、特産品振興の施策に掲げている。他地域の取組事例も参考に活気を生む取り組みを展開できるように努める。

スーパーシティ構想 町民説明できない理由は コロナ禍で見合わせている



おがわふみこ
小川文子議員
(日本共産党)

質問 町は人工知能（AI）やビッグデータなど、最先端技術を用いた未来都市の実現により、地域課題を解決するとしてスーパーシティ型国家戦略特区に応募した。

なぜ応募前に町民説明会ができなかったのか。オンラインや広報での説明ができたのでは。

町長 コロナウイルス感染拡大防止で説明会の開催は見合わせている。広報は詳しい説明ができず誤解が生じると考えた。今後、感染状況を判断し説明していく。

質問 先端技術にはメリットデメリットがあり、プライバシーや個人情報保護など、懸念の町民にどう伝えるのか。

町長 先端的サービスを希望する町民が懸念を抱くことがないように説明していく。

質問 無人運転車両（UGV車）や自動運転トラクター、町内全域へのドローン配送等に5Gが必要ではないか。

町長 自動運転に5Gは必須でない認識している。

学校給食の 委託は慎重に

安定提供の最善策



委託業務が拡大される共同調理場

質問 学校給食は輝かしい歴史があり、コロナ禍の中でも問題なく運営されてきた。調理部門等の民間委託は、コロナ禍での臨時職員27人の解雇は問題では。

教育長 調理員の弾力的配置と効率的に対応できる事業者への業務委託が、安全で安心な学校給食を安定的に提供できる最善の方法と考える。臨時職員は委託事業者者に優先的な採用をお願いする。

旧矢中跡地を 公園に

売却し教育 施設の基金に

質問 旧矢中中学校跡地は、町づくりに重要な場所であり、売却ではなく多くの町民が望む公園として活用する考えは。

町長 基本方針は売却して教育施設や社会教育施設整備の基金として積み立てるものだが、議会などの意見と併せて、町民に説明し意見を聞く機会を設ける。

矢中跡地の利活用は 第8次総合計画等に反映



は せ が わ か ず お
長谷川和男議員
(矢巾明進会)

質問 徳田小学校は、文化庁との約束で2020年までに徳丹城史跡区域外に移転することになっていたが、移転期限がすでに経過している状況である。

中学校跡地と小学校の移転計画は関連して取り組むべきではなかったか。

町長 徳田小学校を含めた教育施設に関しては、小中一貫校の考えも含め、教育委員会で6月から通学区域審議会を設置し協議を始める。

質問 3・3畝の旧矢巾中学校跡地面積のうちから緑地、駐車場、防災空間としての機能を想定した場合、どの程度の面積を残すのか。



近い将来 移転が必要になる徳田小学校

町長 土地を有効利用すべきとの考えから、今回、旧矢巾中学校跡地の利活用について提案したが、詳細はまだ決定していない。

今後、議会や町民の意見をいただき、議論を積み重ね検討していく。
施設整備を進めるにあたっては、第8次総合計画や都市計画マスタープランに反映させていく。

政策秘書の 設置を

組織体制の 強化に努める

質問 人口減少問題への対応が必要となっている昨今、行政運営の舵取りは非常に厳しくなっている。

政策秘書を公募し、設置を検討すべきと考えるが。

町長 重要課題に対応するため、適時、未来戦略室やまちづくり推進室など機構改革を行い、実務担当レベルの充実強化を図っている。

今後も政策秘書創設公募や内部登用も含めて適切な人材を任用できるよう検討し、組織体制の強化に努める。

質問 昨年の国勢調査速報値では、800人の人口増となったが、地方交付税ほどの程度増額になるのか。

町長 今回は速報値であることから、数値が確定した時点で地方財政計画を鑑みながら算定する。



初めて議会を傍聴して

5月の終わりに畑仕事をしていた私に、「議会の傍聴ができるようだから聴いてみない」と誘われた。「面倒だから無理」と返事したら「町の様子を聞いてみるのも勉強になるから」の言葉に誘われ初めて議会を傍聴した。議会では一般質問が行われており、町づくりなどについて意見を交わしていた。

何気ない木漏れ日の中、さわやかな風を肌で感じながら一杯のコーヒーを求めて、数えきれないほど何度も通った。人生100年時代が到来しているのだから、矢巾町も何度でも訪れたいような、住んでみたいくなるような、そういう町づくりを目指してほしい。

町長さんをはじめ、議員のみなさんが矢巾町のために一生懸命なのだという印象をひしひしと感じた。

勇気を出して傍聴して良かった。



よしだ さくらり
吉田 小百合さん (高田3区)
(写真撮影のためマスクを外していただきました)

追跡

あの質問はどうなった

過去に質問したことがどうなっているのか調査しました

(令和元年6月会議)

高齢ドライバーへの

対策を

質問 高齢ドライバーに対し、免許返納だけではなく、455万円の後付けできる「自動車急発進防止装置」について、補助金制度を設けて推進してはどうか。

関係機関と協議し

早急に対応する

回答 交通安全協会や警察などの各関係機関と協議しながら早急に対応する。



交通安全のため、ご活用ください サポカー補助金のお知らせ

国は、対歩行者衝突被害軽減ブレーキなどを搭載した「安全運転サポート車の購入」と「後付けのペダル踏み間違い急発進抑制装置の取り付け」について補助金（サポカー補助金）を支給しています。

▼対象 65歳以上で安全運転サポート車を購入、または後付けのペダル踏み間違い急発進抑制装置を自家用車に取り付けた方

令和2年6月発行の広報やはばより

※詳しくは
(一社)次世代自動車振興センターのホームページをご確認ください。
(町担当課は総務課防災安全室です。)

現在は

65歳以上の方が対象
「サポカー補助金」
国の制度を活用

国では65歳以上の方を対象に「安全運転サポート車購入」の補助金交付や「後付けのペダル踏み間違い急発進抑制装置等の取り付け」に補助があります。



スタートを務める小網いつきさん
(医大矢巾キャンパス前)



パラリンピアンの高橋幸平さん
(矢幅駅前 ねむの木公園付近)

6月18日、東京2020オリンピック聖火リレーは岩手医科大学矢巾キャンパス前をスタートし、矢幅駅前のねむの木公園まで8区間17名で聖火をつなぎました。

聖火リレーに参加して



高橋幸平さん
平昌パラリンピック
アルペン競技出場
(下北行政区)

今回、光栄なことに聖火ランナーとして走れたこと、本当に嬉しく思いました。初め決まった時は本当にできるのかと不安でしたが、いざ現場に立つとコカ・コーラさんをはじめ、沢山の協賛企業さんが場を盛り上げてくださり、楽しみながら走ることができました。沢山の観客、多くの声援が走っている自分にも伝わりあらためて応援の力はすごいんだなと思いました。

聖火リレー開催により、コロナウイルスにも負けない、これから私たちは立ち上がるのだと世界中に見ていただける機会となったと思います。

東京オリンピックがまもなく開催されます。次は、私が応援する番です。日々努力してきたであろう選手達を心の底から応援していきたいと思えます。



小網いつきさん
不来方高校出身
(新田1区行政区)

大学では、狂ったようにカーの練習をし、勝つためにいろいろなものは全て捨てた。

この数年で分かったことは天才はいないということ。本当に大事な人は誰かということ。そして、オリンピックを目指すということは、たくさんものを代償にすること。強化合宿のせいにして成人式を欠席したのは、半ば意地でもありました。

万人が思うほど、勝負の世界は綺麗じゃない。けれど私は人に救われた。

今度は私の番だ。

誰かを守るため、残りの人生を使います。

聖火ランナーという大役を頂き、涙と汗と思いが詰まった故郷を走らせていただき光栄でした。

○表紙に寄せて○

矢巾町に聖火リレーがやってきました。沿道では、たくさんの方の応援と、ゴールでは矢巾北中学校特設合唱部のみなさんが合唱で盛り上げてくれました。



あ と が き

新型コロナウイルスワクチン接種が始まりました。町民のみなさんは慣れないマスクと自粛生活で、体調を崩している方もいると思います。その中で、身近に手に取って読んでいただける議会だよりを心がけて作成します。今後もご意見ご要望をいただければ幸いです。

編集副委員 川村よし子

発行・編集責任者

議長 藤原 由巳

編集委員
委員長 水本 淳一
副委員長 川村よし子
委員 谷上 知子

赤丸 高橋 安子
秀雄



古紙配合の再生紙と植物油インキを使用しています

過去のやはば議会だよりは右のQRコードからご覧いただけます

